

## 〈報告〉

## 未来/新・未来プロジェクト 活動報告

## 未来プロジェクト記念セミナーに参加して

岩井 優作

(株)日立製作所

EICA: 20(4) 55-56

昨年、新・未来プロジェクトⅣに参加させていただきました。約半年間の活動ではありましたが、メンバーの方々と幾度となく腹を割った議論を重ね、実際に現場の声を聞くためにモニタリングを実施し、価値のある有意義な時間を過ごすことができました。また、プロジェクト終了時、「まだまだできることがあるはず！何かやり残したことがあるのでは？」という気持ちさえ芽生え、今現在ではそれが原動力となって活動の幅を広げることができています。

そのヒントを与えていただいたプロジェクトの記念セミナーとだけあって、是が非でも出席したいという強い思いを抱き、今回の記念セミナーに出席させていただきました。当日、同窓会のような気持ちで会場入りした際、“帰ってくる場所がある”みたいな感覚がすぐに沸き、一年しか経過していないというのに懐かしい気持ちにもなりました。またご講演いただきました講師の方々の貴重な経験談、または武勇伝には自然と引き込まれるような魅力があり、今後の社会を支えていく若手の心にストレートに響く内容であったと思います。

セミナーの雰囲気も盛り上がっていき、まだまだお話を聞かせていただきたいとの半ば消化不良の状態

で、懇親会会場へと移動することになりました。いかなればエンジンが暖まった状態です。懇親会では産官学および世代間の垣根を越えてさくばらんに意見交換をしたり、昔を懐かしんだりして、各位が思い思いの時間を過ごされていました。出席者お一人ずつからコメントをいただくという企画も好評で、お酒の力も相まって、普段は聞くことのできない熱い思いや、ウィットに富んだ話、もしくは野望(?)等々も聞くことができ、終始和やかな雰囲気に包まれていました。

近年、コンプライアンス等の問題もあって、この種の集まりは減少傾向にあります。このような機会は重要であることを改めて実感しました。また、業務に忙殺され、“何かを変えなければ”という思いを常日頃抱きながらも、行動を起こせず、ジレンマを感じている方々は決して少なくはないと感じました。潜在的な欲求を満たすための“場の提供”の重要性は当該プロジェクトにて知り得たものでしたが、今回の記念セミナー、懇親会においても、一歩前へ踏み出すためのきっかけ作り、背中を後押しすることの大切さを再認識しました。

最後になりましたが、本プロジェクトの立上げ、お



新・未来プロジェクトⅣ セミナーの様子

よび記念セミナー開催に多大なご尽力をされました福嶋様および EICA 事務局スタッフの皆様へ感謝申し上げます。10 年の節目を迎え、一旦区切りとなりましたが、また別な形で関わっていけるのであれば微力ながらも応援していきたいと考えております。



(左から 4 番目が著者、中央は発起人(関東)の味埜氏(東京大学教授))  
第 26 回 EICA 研究発表会論文発表「Re JAPAN おもてなし観光立国」発表グループ